

この添付文書をよく読んでから使用してください。

体外診断用医薬品

※※2015年 3月改訂（第5版）

※2013年 8月改訂（第4版）

承認番号 16200AMY00255000

品番 **20 300**

嫌気性菌生化学的的同定キット

アピケンキ

(API 20 A)

嫌気性菌の同定用

【一般的な注意】

- 本品は、体外診断用であり診断以外の目的に使用しないで下さい。
- 診断は他の関連する検査結果や臨床症状等に基づいて総合的に判断して下さい。
- 添付文書以外での使用方法については保証致しません。
- 使用する機器の添付文書等をよく読んでから使用して下さい。

【形状・構造等（キットの構成）】

<構成試薬の名称>

1. 基質（アピケンキ プレート）の成分

	基質	記号
(1)	L-トリプトファン	IND
(2)	尿素	URE
(3)	ブドウ糖	GLU
(4)	D-マンニトール	MAN
(5)	乳糖	LAC
(6)	白糖	SAC
(7)	マルトース	MAL
(8)	サリシン	SAL
(9)	D-キシロース	XYL
(10)	L-アラビノース	ARA
(11)	ゼラチン	GEL
(12)	エスクリン	ESC
(13)	グリセリン	GLY
(14)	D-セロビオース	CEL
(15)	D-マンノース	MNE

(16)	D-メレチトース	MLZ
(17)	D-ラフィノース	RAF
(18)	D-ソルビトール	SOR
(19)	L-ラムノース	RHA
(20)	D-トレハロース	TRE

2. 培地（アピケンキ液体培地）の成分

アピケンキ液体培地 4 mL	トリプケース 酵母エキス 塩化ナトリウム L-トリプトファン L-シスチン ヘミン ビタミンK1 硫酸ナトリウム 脱イオン水 (全量) pH 6.9~7.3
-------------------	--

<付属品>

－培養容器	25組
－成績記入用紙	25枚

【使用目的】

嫌気性菌の同定

【測定原理】

<原理>

アピケンキ プレートは、乾燥基質を含む20のマイクロチューブで構成されています。調製された菌液を接種し、乾燥基質を溶解します。培養中の代謝により色が変わります。色の変化は自発的又は添加試薬を加えることにより起こります。反応は、判定表に従って判定し、同定は同定ソフトウェアを利用して行います。

<特徴>

アピケンキは、21項目の生理・生化学的性状試験で嫌気性菌を迅速・簡便に同定することができます。コロニー形態、顕微鏡による形態観察及びグラム染色性所見などの他の試験も菌種同定には不可欠で、これらの結果は同定を確認し、完全なものにするために使われます。本キットの同定可能菌種は、本添付文書の最後にある陽性率表に示されています。

【操作上の注意】

- 検体（採取及び前処理）
臨床材料や他の検体を直接使用してアピケンキで試験することはできません。
試験に使用する菌株は、通常の細菌検査法に従って適切な培地で分離培養する必要があります。
- アピケンキは、専用のデータベースに含まれている嫌気性菌の同定のみを行います（“陽性率表”を参照して下さい）。データベースに含まれない菌種の同定やデータベースに含まれていない菌種であることを確認する目的には使用できません。
- 単一分離菌から得られた純培養菌のみを使用して下さい。

【用法・用量（操作方法）】

＜試薬の調製方法＞

- BCP試薬、EHR試薬は、アンプルを転倒し垂直に保ち、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。または乾燥ピペットを用いて、試薬をすべて滴ビンに移し入れて下さい。XYL試薬は、そのままご使用下さい。
- 添加試薬は開封後、1ヶ月以内に使用して下さい。滴ビンに移し替えた試薬は、移し替えた日付を滴ビンに記入し、1ヶ月以内に使用して下さい。未開封状態での使用期限は、外箱の☒マークに記載してあります。

※※＜必要な器具・器材・試料等＞

本品を使用の際に必要な試薬及び器具
試薬

- －ミネラルオイル（品番 70100）
- －BCP 試薬（品番 70510）
- －EHR 試薬（品番 70520）
- －XYL 試薬（品番 70530）
- －マクファーランドスタンダード（品番 70900）濁度 3
- －APIWEB® 同定ソフトウェア（品番 40011）
- －過酸化水素水（3%）

器具

- －滅菌綿棒（品番 70610）
- －アピペット（品番 70250）
- －嫌気環境ジェネレーター（嫌気パックなど）
- －アンプル立て（品番 70200）
- －アンプルプロテクター（品番 70901）
- －紫外線ランプ（365nm）
- －微生物試験用実験器具類

<測定（操作）法>

菌液の調製

- 本添付文書中の“ 使用上または取扱い上の注意 ”で指示されている方法でアピケンキ液体培地のアンブルを開けます。
- 嫌気培養により発育した血液寒天培地上のコロニーを、綿棒ですべて掻き採って下さい。使用するコロニーは、培養時間が18～24時間と短く若いものを使用して下さい。また、純培養菌であることを確認して下さい。純培養菌でないと思われるなら、単一分離しているコロニーを継代培養してから試験に使用して下さい。
- アンブルを垂直に立て、綿棒を回転させ、懸濁培地の外に漏れないように綿棒をアンブル壁面に押し付けて菌懸濁液を作製して下さい。最終的にマクファーランド濁度3と同等かそれ以上に調製して下さい。調製した菌液は直ちに使用して下さい。発育の遅い菌では、この濁度の菌液を調製するために2枚以上の血液寒天培地が必要になることがあります。
注意：嫌気状態を維持するために、菌の懸濁中に空気が培地に入らないようにして下さい。

プレートの準備

- トレイと蓋からなる培養容器を準備し、約5 mLの蒸留水又は脱イオン水（又はCl₂、CO₂などのガスを放出する可能性のある添加物や化合物を含有しない水）を凹凸のあるトレイに入れて、湿潤環境を作して下さい。
- トレイのフラップ部分に、試験に用いる菌株の情報（検体番号等）を記載します。（操作中に蓋がプレート間で入れ替わることがあるため、蓋に記入することは避けて下さい。）
- 包装を開封してアピケンキ プレートを取り出します。
- プレートを培養容器のトレイに載せます。

プレートへの菌液接種

- アピペットを用い、プレートを少し前に傾けた状態にして、気泡ができないように注意して、アンブル中のアピケンキ液体培地で作製した菌液を分注します。
 - －**GEL** 試験に関しては、チューブとカップの両方に菌液を接種します。
 - －**IND** 試験項目では、チューブにのみアピケンキ液体培地で調製した菌液を接種し、カップにはミネラルオイルを重層してインドールの揮発を防いで下さい。
 - －培養容器に蓋をして、嫌気チャンバー、嫌気ジャーまたは嫌気パックの中で36 ± 2℃で24時間（± 2時間）培養して下さい。
 - －残りの菌液は、寒天培地 2枚に接種し、1枚は好氣的に、もう1枚は嫌氣的に培養を行い、純培養状態及び生育状態の確認に利用できます。

【測定結果の判定法】

プレート判定

嫌気性菌の多くは24時間以内に明確にかつ容易に判定できる反応を示しますが、菌株によっては発育が遅く、48時間の培養でのみ同定可能になることがあります。

- 培養後、判定表を参照してプレート进行判定して下さい。
- 添加試薬を必要としない自発的反應をすべて成績記入用紙に記入して下さい。
- 添加試薬が必要な反應は下記の要領で判定して下さい。
 - －反應中に存在するブロムクレゾールパープル (BCP) が還元反應によって脱色することがあります。この場合、糖が入っている各マイクロチューブにBCP試薬を1滴ずつ添加してから酸化反應を判定して下さい。黄色または黄緑色を示す陽性反應を、成績記入用紙に記録して下さい。
 - －IND試験：キシレン (XYL) 試薬をミネラルオイルを重層した試験に1滴添加し接種棒を用いて混和し、2～3分間放置して下さい。その後、EHR試薬を1滴添加して下さい。この試薬は必ずキシレン/ミネラルオイル上に浮かして下さい。これにより、マイクロチューブの中の色が希釈されずにすみずみです。5分以内に判定して下さい。赤色を陽性反應として、結果は成績記入用紙に記入して下さい。
 - －CAT試験：カタラーゼ産生能は、プレートを空気に30分間さらしてから判定します。陽性を示したマイクロチューブに3% H_2O_2 液を2滴添加します。気泡が発生すれば陽性とし、成績記入用紙に記入します。

※解析

同定はプロファイル番号を用いて行います。

- プロファイル番号の決定：

成績記入用紙は、20種類の試験項目をもつアピケンキプレートの外欄にカタラーゼ反応及び3種類の形態学的特徴を記入できるようになっています。なお、形態学的特徴には、芽胞の有無、グラム陽性または陰性及び球菌または桿菌が含まれます。成績記入用紙上で、各試験項目は3つずつのグループに分けられ、各項目に1、2、4の数値が与えられています。グループ毎に陽性反應を示した数値が加算され、8桁のプロファイル番号が得られます。

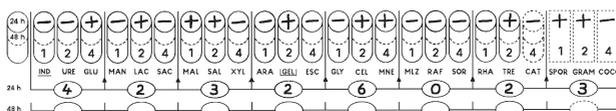
※※

同定：

専用データベース (V5.0) を使用して実施します。

* APIWEB[®] 同定ソフトウェアを用いる場合：

8桁のプロファイル番号を入力します。



4 232 602 3 *Clostridium septicum*

■品質管理

本基地、プレート及び試薬は、各製造工程において体系的に品質管理が行われています。施設毎にプレートの品質管理を実施する場合は、下記の菌株を使用することをお勧めします。

1. *Clostridium perfringens* ATCC[®] 13124TM 又は下記の菌株の1つを使用することを

お勧めします：

2. *Bacteroides ovatus* ATCC® 8483™ 3. *Clostridium sordellii* ATCC® 9714™
 ATCC：American Type Culture Collection, 10801 University Boulevard, Manassas, VA 20110-2209, USA.

	IND	URE	GLU	MAN	LAC	SAC	MAL	SAL	XYL	ARA	GEL	ESC	GLY	CEL	MNE	MLZ	RAF	SOR	RHA	TRE	CAT
1.	-	-	+	-	+	+	+	-	-	-	+	-	+	-	+	-	-	v*	-	+	-
2.	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+	-	+	+	+	+	-	+	+	+
3.	+	+	+	-	-	-	+	-	-	-	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*この結果は、使用された培地によって変動することがあります。

コロンビアヒツジ血液寒天培地で培養した菌株のコロニーを試験に用い、24時間培養で得られたプロファイル。

各国の定める規則に従って、本キット使用者の責任のもとで品質管理を実施して下さい。

【性能】

- 感度・正確性
標準試験菌株を用いて、「用法・用量(操作方法)」欄に記載の方法に従って試験するとき、その同定結果は、用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。
- 同時再現性
標準試験菌株を用いて、「用法・用量(操作方法)」欄に記載の方法に従って3回同時に試験をするとき、同定結果は3回とも用いた標準試験菌株の菌種名と一致します。
- 測定範囲
本品の使用は、アピケンキのデータベースに含まれている菌種の同定に限られません。

※※<相関>

24時間培養後：

本データベースに属する保存菌株及び各種材料由来の菌株2,468株が検討されました：

- 87.0%の菌株が正確に同定されました（追加試験を含む）。
- 4.9%の菌株は同定不能でした。
- 8.2%の菌株は誤同定でした。

【使用上または取扱い上の注意】

※<取扱い上（危険防止）の注意>

- 体外診断用医薬品及び微生物制御検査用
- 微生物試験従事者が使用して下さい。
- 本キットには動物由来製品が含まれます。使用動物の由来や衛生状態は保証されていますが、これは感染性病原体による製品汚染がないことを完全に保証するものではありません。従ってこれらの製品は感染性を有するものとして扱い、飲んだり吸い込んだりしないよう、通常の安全予防策を守って取り扱うことをお勧めします。

- 検査材料、細菌培養、および接種菌液はすべて感染性があるものとして、適切に取り扱う必要があります。検査全体を通じて、細菌を扱う際には無菌操作の実施と通常の注意を払う必要があります。この件に関しては、“CLSI® M29-A, *Protection of Laboratory Workers from Occupationally Acquired Infections; Approved Guideline-Current revision*”を参照して下さい。使用上または取扱い上の注意の追加情報としては、“Biosafety in Microbiological and Biomedical Laboratories - CDC/NIH - Latest edition”または各国で現在使用されている規程に準拠して下さい。

※＜使用上の注意＞

- 使用期限を過ぎた試薬は使用しないで下さい。
 - 使用する前に、各試験用試薬及び包装に破損がないことを確認して下さい。
 - カップなどの変形が見られるプレートは使用しないで下さい。
 - 以下の手順に従い、注意してアンプルを開けて下さい。
 - －アンプルをアンプルプロテクターに差し込んで下さい。
 - －アンプルプロテクターに入ったアンプルを片手で垂直に持って下さい（白色プラスチックキャップが上になるように立てます）。
 - －キャップをできる限り下向に押します。
-
- －キャップの溝面部分に親指を置き、前に押出してアンプル先端部を折ります。
 - －アンプルをアンプルプロテクターから取り出し、次の使用のため近くに置きます。
 - －キャップを注意深く取り除きます。
- 添付文書に示されている相関データは、本書に記載された操作方法を用いて得られたものです。方法の変更や修正は、同定結果に影響する可能性があります。
 - 試験結果の解釈は、患者の病歴、検査材料の由来、分離菌株のコロニー形態や鏡検像及び必要となった際に実施される他の検査結果（特に薬剤感受性パターンの結果）を考慮して行う必要があります。
 - 期待値結果の範囲
各種生化学性状反応の期待値結果の範囲については本添付文書の最後に記載されている“陽性率表”を参照して下さい。

＜廃棄上の注意＞

使用後試薬、未使用試薬及び汚染された器具類は、感染の危険性があるものとして適切に廃棄して下さい。廃棄物や廃液の取扱いは、その種類や危険度に応じて適切な規程の元に各施設で責任を持って処理及び廃棄（外部専門業者に処理及び廃棄依頼）を行って下さい。

【貯蔵方法・有効期間】

アピケンキプレート及びアピケンキ液体培地は、包装に表示されている使用期限まで2～8℃で保存して下さい。有効期間は18ヶ月です。使用期限は、プレートのパッケージおよび外箱の☒マークに記載してあります。

【包装単位】

25回用

【主要文献】

1. DRUGEON H, BILLAUDEL S, COURTIEU A.L Utilisation d'une microgalerie pour l'identification des bactéries anaérobies. (1977) Ann. Biol. Clin., 35, 409-414.
2. ESSERS L, HARALAMBIE E. Experiences with the API 20 A System in routine species identification of anaerobes. (1977) Zbl. Bakt. Hyg. Parasitenk-1, Abt-A, 238, 394-401.
3. MURRAY P.R., BARON E.J., JORGENSEN J.H., PFALLER M.A., YOLKEN R.H. Manual of Clinical Microbiology. 8th Edition. (2003) American Society for Microbiology, Washington, D.C.
4. NORD C.E., DAHLBACK A., WADSTROM T. Evaluation of a Test Kit for Identification of Anaerobic Bacteria. (1975) Med. Microbiol. Immunol., 161, 239-242.
5. STARR S.E., THOMPSON F.S., DOWELL V.R., BALOWS A. Micromethod System for Identification of Anaerobic Bacteria. (1973) Appl. Microbiol., 25, 713-717.

【問い合わせ先】

シスメックス株式会社 CSセンター
〒651-2241 神戸市西区室谷1丁目3番地の2
TEL 0120-265-034

シスメックス・ピオメリュー株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー 8階
TEL 03-6834-2666 (代表)

【製造販売業者の氏名または名称及び住所】

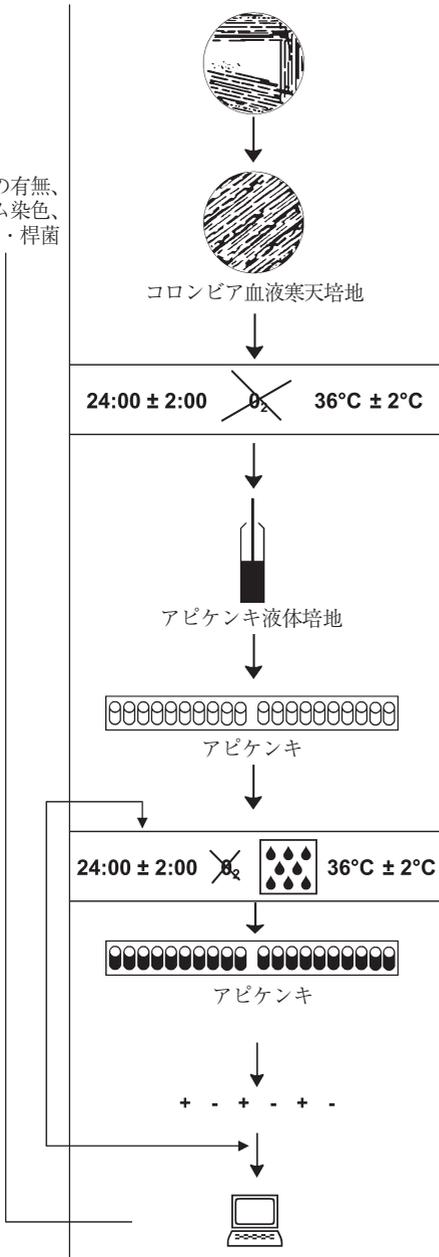
シスメックス・ピオメリュー株式会社
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー 8階

※※※ 本添付文書は、下記 Web サイトからダウンロードできます。

<http://products.sysmex-biomerieux.net/>

操作手順

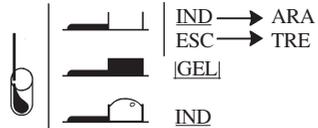
芽胞の有無、
グラム染色、
球菌・桿菌



継代培養

菌液調製

マクファーランド濁度3



判定

同定

APIWEB®を用いて行う。

■判定表

テスト項目	基質	反応/酵素	成績	
			陰性	陽性
IND	L-トリプトファン	インドール産生	XYL試薬 - 混合 / 2~3分後 + EHR試薬 / 5分以内に判定	
URE	尿素	ウレアーゼ	黄色 - オレンジ色	赤色
GLU MAN LAC SAC MAL SAL XYL ARA	ブドウ糖 D-マンニトール 乳糖 白糖 マルトース サリシン D-キシロース L-アラビノース	酸性化(グルコース) 酸性化(マンニトール) 酸性化(ラクトース) 酸性化(サッカロース) 酸性化(マルトース) 酸性化(サリシン) 酸性化(キシロース) 酸性化(アラビノース)	BCP 試薬	
GEL	ゼラチン	加水分解 (プロテアーゼ) (ゼラチン)	色素の拡散なし (1)	黒色色素の拡散 (1)
ESC	エスクリン	加水分解 (β-グルコシダーゼ) (エスクリン)	黄色 (2)	茶色-黒色 (2)
GLY CEL MNE MLZ RAF SOR RHA TRE	グリセリン D-セロビオース D-マンノース D-メレチトース D-ラフィノース D-ソルビトール L-ラムノース D-トレハロース	酸性化(グリセロール) 酸性化(セロビノース) 酸性化(マンノース) 酸性化(メレチトース) 酸性化(ラフィノース) 酸性化(ソルビトール) 酸性化(ラムノース) 酸性化(トレハロース)	BCP 試薬	
CAT		カタラーゼ	空气中に30分放置した後、 陽性カップに過酸化水素水を滴下	
SPOR		芽胞	無	有
GRAM		グラム染色性	ピンク色	紫色
COCC		形態	桿菌	球菌

- (1) 丸型のジャーで培養した場合、チューブの底部のみに色素の拡散が見られます。
 (2) 茶色～黒色は時々プレートが空気に曝された時に発色することがありますので、判定はこれを十分考慮して行って下さい。

黒色は硫化水素 (H₂S) がクエン酸鉄と反応して硫化鉄 (FeS) が形成されたために生じるものと思われます。この黒色はエスクリンの加水分解によるものではありません。硫化鉄はチューブの底に沈殿物を作り、エスクリンの加水分解はチューブの上部に茶色～黒色を作るので区別できます。チューブ全体が黒色となる場合や疑わしい場合は、紫外線を照射して蛍光の発生で判定して下さい。



ESC+
H₂S-



ESC-/+
H₂S-/+



ESC-
H₂S+

陽性率表 (36±2℃、24~48時間培養、単位%)

※※ AP [®] 20A	V5.0	IND	URE	GLU	MAN	LAC	SAC	MAL	SAL	XYL	ARA	GEL	ESC	GLY
<i>Actino.israelii</i>	0	0	99	99	89	99	99	99	99	99	97	0	30	25
<i>Actino.meyeri/odont.</i>	1	0	99	1	72	98	93	31	62	37	5	5	50	
<i>Actino.naeslundii</i>	0	5	99	26	72	96	94	55	0	0	16	21	47	
<i>Actino.viscosus 1</i>	0	0	99	0	65	99	99	22	0	0	7	1	60	
<i>Actino.viscosus 2</i>	0	0	60	0	0	60	0	5	0	0	0	0	0	
<i>Bac.caccae</i>	0	0	100	0	100	100	75	0	100	100	0	90	10	
<i>Bac.fragilis</i>	0	0	99	0	99	99	99	0	99	0	1	99	1	
<i>Bac.ovatus/thetaio.</i>	80	1	99	7	99	99	99	28	99	99	3	95	1	
<i>Bac.ster.eggerthii</i>	99	0	99	1	92	25	90	10	75	70	10	65	0	
<i>Bac.uniformis</i>	91	0	99	0	99	99	95	97	99	95	3	99	0	
<i>Bac.vulgatus</i>	0	0	99	0	99	98	98	0	99	92	5	23	1	
<i>Bifidobacterium spp 1</i>	0	0	99	30	99	99	99	70	60	75	2	40	0	
<i>Bifidobacterium spp 2</i>	0	0	99	99	99	99	99	99	90	80	1	75	45	
<i>Camp.ureolyticus</i>	1	99	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	
<i>Cl.baratii</i>	0	0	99	8	75	99	80	99	0	0	0	75	54	
<i>Cl.beijer./butyricum</i>	1	0	99	47	95	99	98	97	97	80	10	76	54	
<i>Cl.bifermentans</i>	90	0	75	0	0	0	70	10	0	0	90	6	5	
<i>Cl.botulinum/sporo.</i>	20	0	55	0	0	1	72	0	0	0	99	20	1	
<i>Cl.cadaveris</i>	98	0	87	0	0	6	6	0	0	1	84	0	0	
<i>Cl.clostridioforme</i>	0	0	90	0	77	99	99	88	91	94	5	75	1	
<i>Cl.difficile</i>	0	0	99	80	0	0	0	20	5	0	44	30	1	
<i>Cl.histolyticum</i>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	99	0	0	
<i>Cl.innocuum</i>	0	0	99	99	0	46	0	99	5	15	1	45	1	
<i>Cl.paraputrificum</i>	0	0	99	0	99	92	99	99	0	0	0	99	0	
<i>Cl.perfringens</i>	0	0	99	2	95	95	99	1	0	0	99	4	54	
<i>Cl.ramosum</i>	1	0	99	80	99	99	99	99	0	0	0	40	0	
<i>Cl.septicum</i>	0	0	99	1	99	0	94	94	0	1	75	35	0	
<i>Cl.sordellii</i>	99	99	95	0	0	0	90	0	0	0	95	0	0	
<i>Cl.tertium</i>	0	0	99	99	99	99	99	99	70	0	0	35	0	
<i>Clostridium spp</i>	10	1	1	0	0	0	1	0	0	0	90	5	0	
<i>Collin.aerofaciens</i>	0	0	100	0	99	90	90	75	0	0	0	40	0	
<i>Eggerthella lenta</i>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
<i>Eubac.limosum</i>	0	0	100	70	0	0	0	4	1	1	4	4	10	
<i>Fuso.mortiferum</i>	1	0	99	0	0	70	15	75	5	0	5	25	25	
<i>Fuso.necro./nucleat.</i>	94	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	
<i>Fuso.varium</i>	70	0	81	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	
<i>Gem.morbilorum</i>	0	0	100	8	5	90	100	8	0	0	0	5	0	
<i>Lacto.acid./jense.</i>	0	0	99	3	80	99	96	99	1	0	3	75	8	
<i>Parab.distasonis</i>	0	0	99	1	99	99	93	73	86	27	1	80	4	
<i>Peptoni.asacchar.</i>	93	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	
<i>Peptostrepto.group</i>	0	5	5	0	1	0	1	1	0	0	27	0	0	
<i>Por.asaccharolytica</i>	80	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	1	0	
<i>Prev.bivia</i>	1	0	99	1	99	0	99	1	1	1	50	0	80	
<i>Prev.interm./disiens</i>	32	0	99	0	0	35	98	0	0	0	70	1	4	
<i>Prev.melani./oralis</i>	0	0	97	1	97	83	97	31	2	1	20	51	18	
<i>Prop.acnes</i>	67	0	97	20	1	5	0	0	0	0	69	0	97	
<i>Prop.granulosum</i>	0	0	99	41	1	82	31	0	0	1	18	0	99	
<i>Prop.prop./avid.</i>	0	0	92	50	50	73	80	0	2	5	40	0	45	
<i>Staph.saccharolytic.</i>	0	25	87	0	5	0	0	0	0	5	0	5	75	
<i>Str.constellatus</i>	0	0	100	0	22	100	100	100	0	0	0	22	0	
<i>Str.intermedius</i>	0	0	99	20	99	99	99	95	0	0	0	75	0	
<i>Veillonella parvula</i>	0	0	1	0	1	1	1	1	0	1	1	1	0	

CEL	MNE	MLZ	RAF	SOR	RHA	TRE	CAT	SPOR	GRAM	COCC
90	90	38	82	40	45	90	1	0	100	0
0	0	0	10	1	15	0	2	0	100	1
50	70	5	60	16	0	46	11	0	99	0
17	95	0	99	0	0	5	90	0	100	0
0	60	0	0	0	0	0	80	0	100	0
0	100	25	100	0	60	70	0	0	0	0
41	99	0	99	0	2	0	96	0	0	1
65	99	23	99	2	99	83	65	0	0	0
30	99	0	30	0	65	0	50	0	0	0
99	99	1	98	0	42	1	9	0	0	0
8	99	0	94	0	77	3	2	1	0	1
40	70	20	91	25	0	35	0	0	99	0
99	99	85	100	75	50	99	0	0	99	0
0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
99	99	0	0	8	8	8	0	99	99	0
95	95	20	80	31	25	90	0	100	89	0
0	50	0	0	4	0	0	0	97	99	0
1	1	0	0	1	0	40	0	99	99	0
0	40	0	0	1	0	5	0	99	97	0
77	99	75	94	1	86	88	25	75	75	0
5	66	83	0	5	1	5	0	98	99	0
0	0	0	0	0	0	0	0	99	90	0
99	99	4	1	0	0	25	0	99	99	0
99	99	0	7	7	0	21	0	99	99	1
4	99	0	16	10	0	76	1	84	99	0
99	99	0	60	0	57	94	0	92	75	0
76	99	0	0	0	1	84	1	99	99	0
1	4	0	0	4	0	0	0	99	99	0
99	99	62	0	1	0	85	0	99	99	0
0	0	0	0	0	0	0	0	99	99	0
75	99	0	0	0	0	70	0	0	100	0
0	0	0	0	0	0	1	60	0	100	0
0	4	0	0	0	0	0	5	0	100	0
25	75	0	75	0	0	23	3	0	0	0
0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
0	75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	100	0	5	5	0	20	0	0	100	99
99	99	5	15	5	3	90	0	0	100	0
60	95	65	98	1	80	70	77	0	0	0
0	0	0	0	0	0	1	18	0	98	99
0	0	0	0	0	0	0	5	0	94	100
0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
0	99	0	0	0	1	0	0	0	0	1
1	85	0	19	0	1	1	1	0	0	3
53	97	1	89	0	12	4	0	0	0	1
0	97	0	0	10	0	1	89	0	100	1
0	98	25	35	0	4	67	79	0	100	0
0	50	2	75	0	1	30	30	0	82	0
0	75	0	0	0	5	5	99	0	100	100
33	100	0	0	0	0	66	0	0	100	100
90	99	6	26	0	0	99	0	0	100	100
1	1	0	1	0	1	0	50	0	1	100

製造販売元 シスメックス・ビオメリュー株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目2番2号 大崎セントラルタワー8階

